



## 2歳王者が皐月賞の雪辱を果たす

馬と自分を信じた早めのスパートから堂々の押し切り勝ち。2歳王者が皐月賞の雪辱を果たし、世代7950頭の頂点に立った。

皐月賞馬ミュージアムマイルをはじめ、共同通信杯勝ち馬マスカレードボール、若葉S勝ちのジョバンニ、きさらぎ賞勝ちのサトノシャインング。毎日杯を制して3戦無敗のファンダムや、京都新聞杯の1、2着馬ショウヘイとエムズ。プリンシパルSを勝ってきたレディネスや、青葉賞2着のファイアングランツ。同世代の頂点を目指して多くの実績馬が揃う中、1番人気に推されたのはクロワデュノールだった。デビュー3連勝でホープフルSを制するも、皐月賞ではミュージアムマイルに差されてまさかの2着。しかし2歳王者のリベンジを信じるファンは、この馬に再び単勝2.1倍の支持を与えた。

レースはホウオウアートマンが後続を離して逃げる展開となった。好スタートを切ったクロワデュノールは縦長の馬群の3番手を追走。直線に向くと馬場の真ん中に進路を取り、躊躇なくスパートをかける。ショウヘイを突き放し、前にいたサトノシャインングを交わして残り300mで早くも先頭に立つと、あとは来るなら来いと言わんばかりの力強い足取りで独走。最後は外から猛追するマスカレードボールを

3/4馬身抑え、栄光のゴールを駆け抜けた。

「馬を信じて、自分を信じていました。正直、負けるイメージは全然ありませんでした」と語った北村友一騎手は、デビュー20年目で日本ダービー初制覇。4年前には落馬で背骨や肩甲骨を骨折する大怪我を負い、復帰に1年以上を要した。そんな苦難を乗り越え、信念の騎乗を貫いてダービージョッキーの称号を獲得した。

こちらも開業10年目でダービー初制覇の斉藤崇史調教師は「ホツとしたというのが第一でした」と安堵の表情。「北村さんとダービーを勝ててよかったです」と、チームで掴んだ栄冠を喜んだ。

### 第92回東京優駿(日本ダービー)(GI)

6/1 東京競馬場 2,400m(芝・左) 晴・良 18頭

着順	馬名	性齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	クロワデュノール	牡3	57	北村 友一	斉藤 崇史	2:23.7	①	④③②③
2	マスカレードボール	牡3	57	坂井 瑠星	手塚 貴久	3/4	③	⑧⑧⑦⑦
3	ショウヘイ	牡3	57	C.ルメール	友道 康夫	1 1/2	⑥	③③④④
4	サトノシャインング	牡3	57	武 豊	杉山 晴紀	クビ	⑤	②②②②
5	エリキング	牡3	57	川田 将雅	中内田充正	1 1/4	⑧	⑭⑭⑭⑭

クロワデュノール  
栄光の蹄跡

13

キタサンブラック [117]  
クロワデュノール  
ライジングクロス(Cape Cross)  
2022.3.21 生 安平・ノーザンファーム



牡3  
青鹿  
57

きたたら ゆういち  
北村 友一  
1986.10.3 生 A型  
南サンデーレーシング  
斉藤 崇史(栗東)

2025.4.20 中山  
皐月賞 GI  
18ト1人 2(116)  
57%。北村友一  
芝2000良 1:57.3

2024.12.28 中山  
ホープフルSGI  
18ト1人 1(117)  
56%。北村友一  
芝2000良 2:00.5

2024.11.16 東京  
東京スポーツ杯2歳SGII  
9ト1人 1(112)  
56%。北村友一  
芝1800良 1:46.8